



日本システム企画

年内に英国進出

ロシアからも 大量引き合い 海外展開を加速

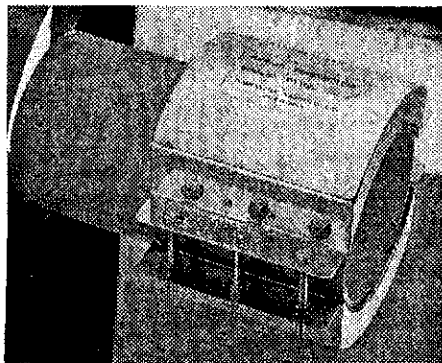
日本システム企画(東京都渋谷区、熊野活行社長、03・33377・1106)は、原子核の磁極が共鳴を起し、回転運動を起す現象の核磁気共鳴(NMR)を利用し、赤サビを黒サビに変え赤水を解消する配管更生装置「NMRパイプテクター」の海外展開を加速する。年内に英国へ進出、また、ロシアから大量引き合いがあり、順次対応する。

日本システム企画の海外拠点は現在、韓国ソウルに日本側が約60%を出資する合弁企業NMRシ

ンガムが開かれた建築総合展「インタービルド2002」に出展したところ、好感触を得たという。このため「合弁が単独進出か(熊野社長)として

物が数多く存在し、現在も使われており、配管を替えずに更生できる「NMRパイプテクター」の需要が見込める。

も可能と見ている。同社は現在、国内でホテルやマンションを中心に800棟以上の敷設実績があるが、「国内市場を押さえるためにも、加速度的な海外展開が必要」と判断、欧州を軸に海外展開を進めていく。



赤水を解消する「NMRパイプテクター」

いるものの、年内に英国に現地法人を設立する方針を固めた。

英国には築後100年を超すような古い建物が数多く存在し、現在も使われており、配管を替えずに更生できる「NMRパイプテクター」の導入が検討されている。同社はサンクトペテルスブルグ市での成約が実現すれば、ロシア全土への拡大